

【オリコン 住宅リノベーション/リフォームに関するトレンド調査レポート】
～高まる住宅リノベーション/リフォーム需要～
住宅をリフォームしたい理由は、「設備や機器の一新」
現在の需要トレンドは「住まいの機能面の充実」をより重視
リフォームしたい場所 1位は「キッチン」

株式会社 oricon ME（本社：東京都港区、代表取締役社長：原田 健明）は、『住宅リフォームに関するトレンド調査レポート』<調査実施：2015年8月11日～17日>を発表いたします。つきましては、当資料をご確認のうえ、是非、貴媒体にてご紹介賜りたく、お願い申し上げます。なお、誠に恐縮ではございますが、資料をご利用いただきます際には、掲載箇所の末尾に「オリコン調べ（oricon.co.jp）」のご表示をお願い申し上げます。

【住宅リフォームに関するトレンド調査レポート】

【Introduction：現在の住宅リフォーム市場について】

日本国内において高まりつつある住宅リノベーション/リフォーム需要。住宅リノベーション/リフォームを希望する人の意識、傾向を明らかにすべく、リノベーション/リフォームを実施したことがある経験者と、現在検討中の希望者300名を対象に「住宅リノベーション/リフォームに関する意識実態調査」を実施。また、矢野経済研究所/クリナップ社「おいしい暮らし研究所」赤城由佳氏/大阪ガス社リフォーム営業部/不動産・住宅情報サイト「SUUMO」池本洋一編集長にリフォーム/リノベーションに関するインタビューをしました。

【住宅リフォームに関する意識調査】

1. 住宅をリノベーション/リフォームしたい理由（2P）

- ・理由の1位は「設備や機器の一新」 ・住まいの機能面の充実をより重視するのが現在の需要トレンド

2. リノベーション/リフォームしたい場所ランキング（3P）

- ・リノベーション/リフォームしたい場所の1位は「キッチン」 ・「使い勝手（時短/効率性）」を求める姿勢が鮮明に

3. リノベーション/リフォーム経験者の95.5%が「リフォームしてよかった」（3P～4P）

- ・リノベーション/リフォーム経験者の95.5%が「リノベーション/リフォームしてよかった」
- ・リノベーション/リフォームが家族のあり方に影響を与えるケースも
- ・クリナップ社「おいしい暮らし研究所」赤城由佳氏 「キッチンや料理の価値観が変化し、キッチンに対する需要が増えている傾向がある」

4. 人気のリノベーション/リフォーム関連商品・サービスとは（5P）

- ・数々の賞を受賞した画期的システムキッチン『クリンレディ』（クリナップ社）
- ・リノベーション/リフォーム物件情報を多数掲載する住宅情報サイト『SUUMO』（リクルート住まいカンパニー社）
- ・「オリコン日本顧客満足度ランキング2014-リフォーム会社部門-」受賞の『大阪ガス』

【調査概要】 ■ 調査対象：全国 20代～40代、持家、既婚者男女、リフォーム経験者&リフォームを予定/興味がある
■ サンプル数：リフォーム経験者：200 サンプル リフォーム予定/興味あり：300 サンプル 合計 500 サンプル ■ 調査期間：2015.8.11（金）～8.17（月） 調査手法：インターネット調査 調査機関：オリコン・モニターリサーチ

【本件に関するお問い合わせ先】

オリコン株式会社 広報部 葛城/本田 TEL：03-6447-2721/FAX：03-3405-8192
本件担当：中舘(k-nakadate@oricon.jp)/竹島 TEL：03-5785-5628/FAX：03-3405-5204

【Introduction : 現在の住宅リフォーム市場について】

近年、住宅リノベーション/リフォームに対する需要が高まっています。矢野経済研究所の2014年7月発表の市場レポート※によると、2020年には2010年比35%増の8兆円規模にまで伸びると予想されています。この背景には、日本の住宅ストック数が、全世帯数をはるかに越える中で、既存建物を有効活用したいとする人が増えていることや、近年、家中消費志向が高まり、住まいをより快適にしていきたいと考える人が増えていることなど、様々な要因があるようです。需要の高まりに対し、リノベーション/リフォームのサービス・商品や、家を彩る雑貨や家具などの充実度も増しており、それがさらに需要を高めるといった構図もできています。

実際に「オリコン日本顧客満足度ランキング 2014」のリフォーム部門で1位の『大阪ガス』リフォーム事業部担当者に住宅リフォーム需要について聞いたところ、「リノベーション/リフォームに対する需要は年々高まっている事を実感しています。弊社で行っているシステムキッチン・システムシステムバスなどのリフォームでは、省エネやバリアフリー等の興味が高まっているように感じます。要因としては省エネ住宅エコポイントなどの制度でお客さまのリフォームへの関心が増したこともともあると思われます。」と答えている。また、株式会社リクルート住まいカンパニーが展開する不動産・住宅情報サイト「SUUMO」編集長 池本洋一氏にも同様の質問をしたところ、「2009年頃から、リノベーション特集を始めましたが、年々ニーズが高まっています。当時はリノベーションに興味を持ち、選択肢に入れる割合は2割程度でしたが今や5割超に。人気立地の中古マンションは、掲載から1週間足らずで売れているものもあります。新築が買えないから中古を買うのではなく、あえて安く中古買って、リノベーションするというのが賢い選択肢として認知されています。リノベーションが「オシャレ」「センスがいい」ことと認知されつつあると感じています。」とコメントしている。

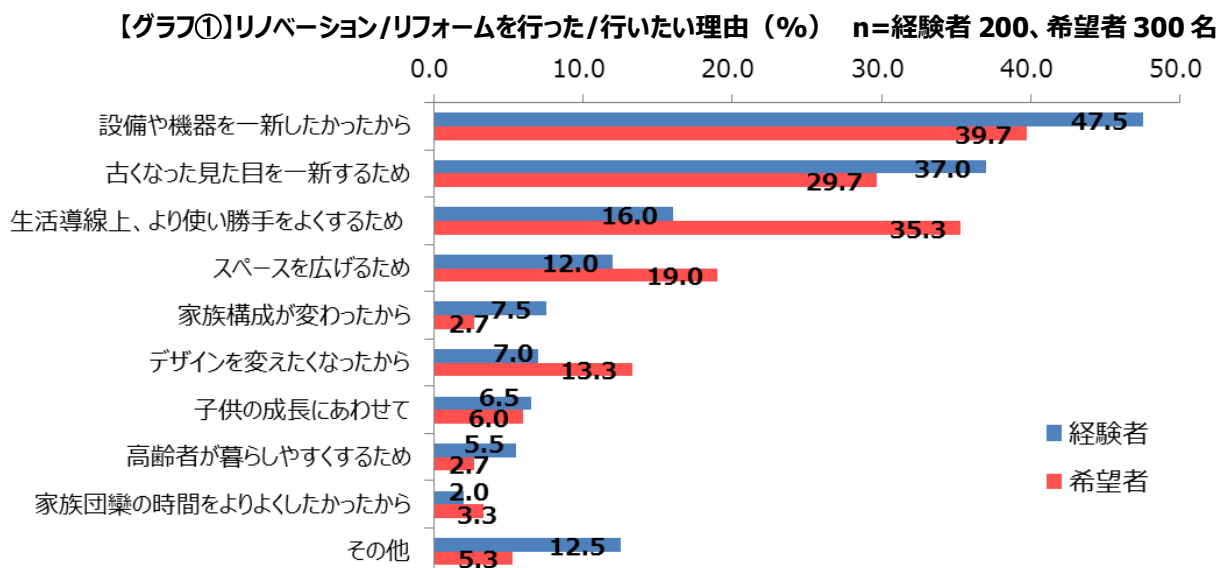
オリコンでは住宅リノベーション/リフォームを希望する人の意識や傾向を明らかにすべく、リノベーション/リフォームを実施したことがある経験者200名（以下「経験者」）と、現在したいと考えている希望者300名（以下「希望者」）を対象に「住宅リノベーション/リフォームに関する意識実態調査」を実施。その結果をもとに専門家に取材をし、現在のトレンドを分析しました。

※：矢野経済研究所2014年発表「住宅リフォーム市場に関する調査結果」より引用

1. 理由の1位は「設備や機器の一新」

住まいの機能面の充実をより重視するのが現在の需要トレンド

そもそも住宅をリフォームしたい理由はどこにあるのでしょうか？リフォーム経験者に実際に行った理由を質問したところ、最も多かったのは、「設備や機器を一新したかったから」となりました（47.5%）。やはり機能面を高めたいと考えて実施する人が多いことが見て取れます。一方で、見た目の快適性を追求して実施した人も多く、「古くなった見た目を一新するため」が2番目に多く上げられました（37.0%）。一方、現在のリノベーション/リフォーム検討・希望者に「したい」と思う理由を尋ねたところ、異なる傾向が見られました。最も多かったのは、39.7%があげた「設備や機器を一新したかったから」（35.3%）で、経験者と同様でしたが、2番目には「生活動線上、より使い勝手をよくするため」が続いています。【グラフ①】



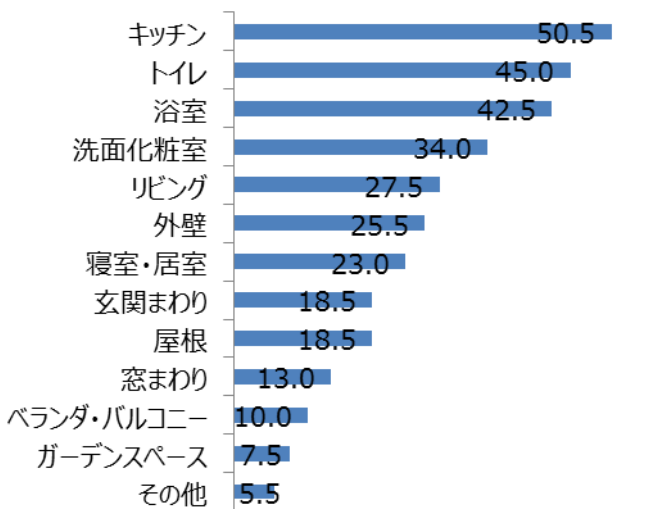
2. リノベーション/リフォームしたい場所の1位は「キッチン」

「使い勝手（時短/効率性）」を求める姿勢が鮮明に

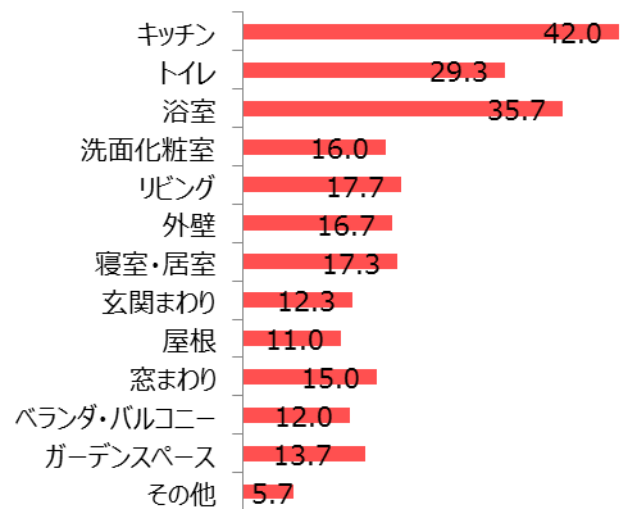
では、リノベーション/リフォームしたいのは、果たして住宅のどの部分でしょうか。経験者が実際にリノベーション/リフォームした場所で最も多かったところは過半数の人があげた「キッチン」でした(50.5%)【グラフ②】。さらに、希望者がリフォームしたい場所として1位になったのも「キッチン」となり、リノベーション/リフォームしたい場所としては、圧倒的に「キッチン」が多いことが明らかになりました(42.0%)【グラフ③】。機能面の充実を求めてリノベーション/リフォームする人が多い中、機能が最も求められる「キッチン」は最重要対象となっているようです。

キッチンのリノベーション/リフォームする際に重視する点としては、経験者、希望者ともに「使い勝手（時短/効率性）」が大半という結果になりました。

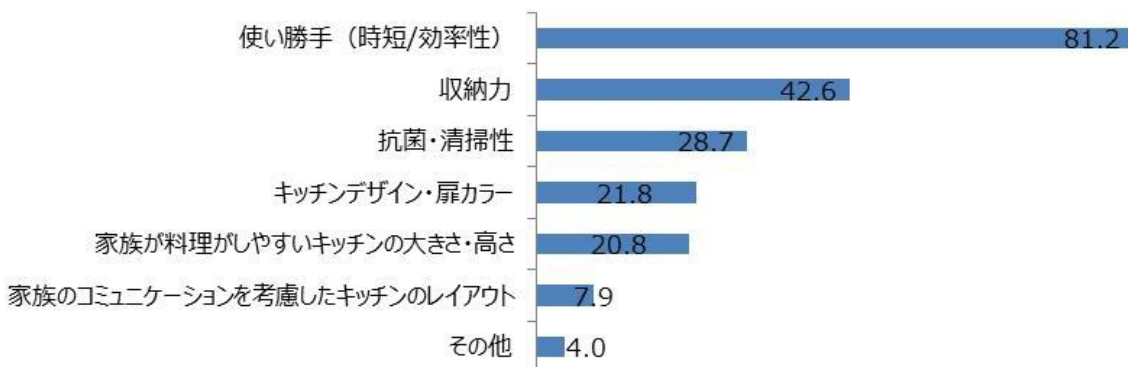
【グラフ②】リノベーション/リフォームした場所 (%)
n=経験者 200



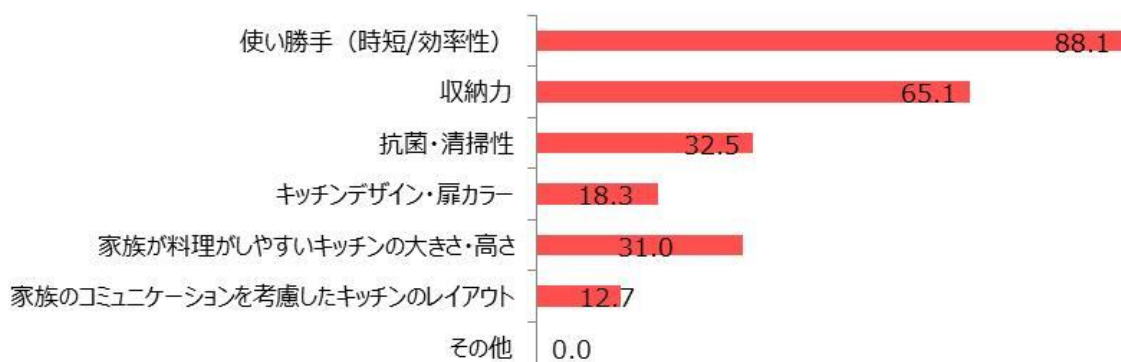
【グラフ③】リノベーション/リフォームしたい場所 (%)
n=希望者 300



【グラフ④】キッチンのリノベーション/リフォームする際に重視した点 (%)
n=経験者 200



【グラフ⑤】キッチンのリノベーション/リフォームする際に重視したい点 (%)
n=希望者 300

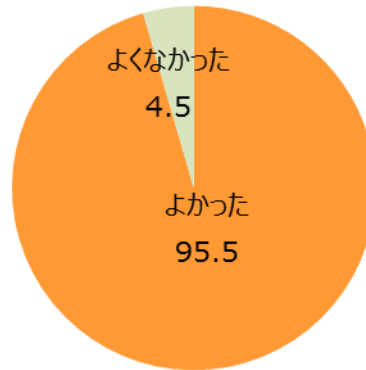


3. リノベーション/リフォーム経験者の 95.5%が「リノベーション/リフォームしてよかった」

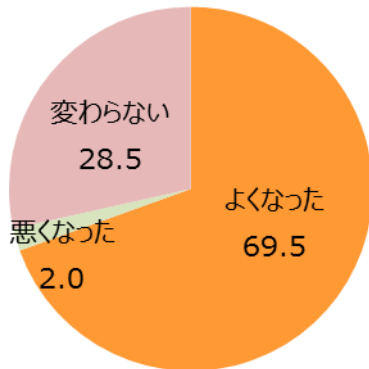
続いて、リノベーション/リフォームした効果についても調査しました。その結果、経験者の実に 95.5%が「リノベーション/リフォームしてよかった」と答えており、満足度の高さがうかがえます。具体的には「家の居心地がよくなった」と答えた人が 69.5%を占め、「家の使い勝手がよくなった」という人も 69.0%を占めました。リフォームによって、住まいとしての快適性、使用性の両面が高まり、満足度へと繋がっているようです。

また、変わった効果としては、「家族のコミュニケーションが増えた」と感じている人が 23.0%、「家族が家で過ごす時間が増えた」と感じている人が 19.0%おり、リノベーション/リフォームが家族のあり方に影響を与えるケースも少なからずあることがわかりました。

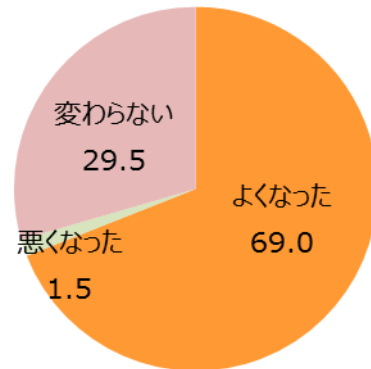
【グラフ⑥】リノベーション/リフォームしてよかった？ (%) n=経験者 200



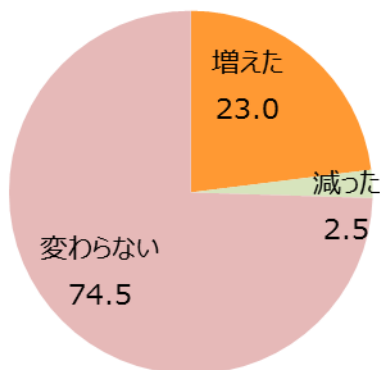
【グラフ⑦】リノベーション/リフォームしてからの変化「家の居心地」 (%) n=経験者 200



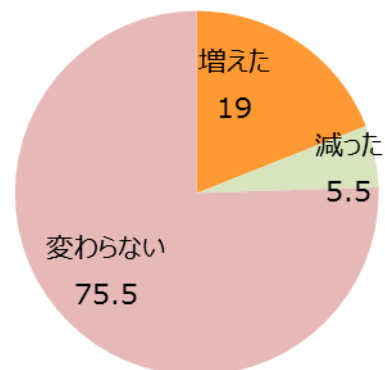
【グラフ⑧】リノベーション/リフォームしてからの変化「家の使い勝手」 (%) n=経験者 200



【グラフ⑨】リノベーション/リフォームしてからの変化「家族とのコミュニケーション」 (%) n=経験者 200



【グラフ⑩】リノベーション/リフォームしてからの変化「家族が家で過ごす時間」 (%) n=経験者 200



今回の調査結果からは、機能面の充実を求めてリノベーション/リフォームしたいと考える人が多く、中でも使い勝手の向上を求めて「キッチン」をリノベーション/リフォームしたいと考える人が多いという現在の需要トレンドが明らかになりました。そこで、このトレンドをより具体的に探るために、国内初でシステムキッチンを発売したクリナップ株式会社の「おいしい暮らし研究所」の赤城由佳氏にキッチンの需要について取材しました。

「家事の簡便化、時短、外部化」と、現在のトレンドを強く感じているとのこと。「キッチンに対する需要は増加傾向にあると感じています。その理由として、夫婦ともに仕事をしている、自分のスタイルで家事を行っている、または食事の味を追求するだけでなく、食にまつわる様々なモノ・コトにも目を向けるなど、キッチンや料理の価値観が変化してきています。それに伴い、今までのキッチンでは対応しにくくなる状況が見られ、利便性やデザインセンスなどご自身の生活価値観が表現できるキッチンを手に入れる傾向にあります。」（赤城氏）。同社の調査では「家事よりも子供ごとには時間を割く」傾向があることが分かり、30代ではキッチンリノベーション/リフォームで「料理が楽しかった」「過ごす時間が増えた」「家族があつまる時間が増えた」「ホームパーティーの機会が増えた」などキッチンを中心に暮らし方が変化したというデータもあるようだ。

4. 現在、人気のリノベーション/リフォーム関連商品・サービスを紹介

- ・数々の賞を受賞した画期的システムキッチン『クリンレディ』（クリナップ社）
- ・豊富なリノベーション/リフォーム物件情報を保有する住宅情報サイト『SUUMO』（リクルート住まいカンパニー社）
- ・「オリコン日本顧客満足度ランキング2014-リフォーム会社部門-」受賞の『大阪ガス』

■ 数々の賞を受賞した画期的システムキッチン『クリンレディ』（クリナップ社）

クリナップ社は国内で初めてシステムキッチンを導入。同社が販売するシステムキッチン「クリンレディ」は、戸建て住宅専門の実務情報誌「日経ホームビルダー」で工務店・住宅メーカー社員が選ぶ「採用したいシステムキッチン部門メーカー」で1位を獲得するなど、機能性や品質面で専門業者に高い評価を獲得。お料理中などで使う水が野菜くずや油污を集めて、排水口へと流してくれる新水路構造を採用した「流レールシンク」が好評。



■ 豊富なリノベーション/リフォーム物件情報を提供する住宅情報サイト『SUUMO』（リクルート住まいカンパニー社）

不動産・住宅に関する総合情報サイト。全国の賃貸物件情報からマンション・戸建て・土地などの不動産売買の情報はもちろん、注文住宅、リフォーム、設備の会社情報や事例に至るまでの豊富な情報を掲載。特にリフォーム・リノベーションに関しては、物件情報のみならず、リフォームに関する無料相談ができる『スーモカウンター リフォーム横浜店』を7月に開店。



■ 「オリコン日本顧客満足度ランキング 2014-リフォーム会社部門-」受賞『大阪ガス』

ガス会社ならではの強みを活かし、ガス機器の取り換えからキッチン・バスなどの水回りのリフォームを得意とし、さらには住宅のトータルリフォームまで対応。また、リフォームアドバイザーなど独自の人材育成で品質向上にも積極的に取り組む。

